

8 章 学習のまとめ

この章で学習した内容をふり返ってみましょう。

散らばり

▶ p.253

データのとる値のうち、最大値から最小値をひいた値を **範囲** という。

データの分布

▶ p.254

階級の区間の幅を **階級の幅** という。

また、最初の階級からある階級までの度数の合計を **累積度数** という。

ヒストグラム

▶ p.255

柱状グラフのことを **ヒストグラム** ともいう。

また、ヒストグラムの各長方形の上の辺の中点を順に結んだ折れ線グラフを **度数折れ線** という。

相対度数

▶ p.261

ある階級の度数の、全体に対する割合を、その階級の **相対度数** という。

$$(\text{相対度数}) = \frac{(\text{階級の度数})}{(\text{度数の合計})}$$

また、最初の階級からある階級までの相対度数の合計を **累積相対度数** という。

データの活用

▶ p.268

調べたいことを決める

⇒ **計画** を立てる

⇒ **データ** を集める

⇒ **分析** する

⇒ **結論** をまとめる

⇒ 結論、調査や発表のしかたをふり返る

階級値

▶ p.258

度数分布表の階級の真ん中の値を、その階級の **階級値** という。

ことがらの起こりやすさ

▶ p.272

多数回の実験の結果、あることがらの起こる相対度数がある一定の値に近づくとき、その値をそのことがらの起こる **確率** という。

8 章で見つけた **!** をふり返って、学習感想をまとめてみましょう。

- わかったことやよかったこと
- 大切だと感じたことや気づいたこと
- さらに学習してみたいこと など



階級の幅を変えてヒストグラムをかくと、データの特徴の見え方に違いがあることがわかった。

相対度数を使うと、度数の合計が異なる 2 つのデータの分布を比べられることがわかった。

代表値を使うとデータの特徴を簡潔に表せるけれど、代表値だけではデータの分布を表せないこともあったので気をつけたい。

確率について、もっとくわしく知りたい。

